

第 48 回全国学童保育指導員学校・西日本・愛知会場（20230604）レポート

【クラブ】（ たけのこクラブ ）

【名 前】（ 岩井 里真 ）

① 午後に参加した講座のタイトルをお書きください。

（ 5 ）講座（№ ） （ 子どもの発達を学ぶ ）

※全体講座のみに参加された方は、全体講座のタイトルをお書きください。№と選んだ理由は必要ありません。

本日の講座で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

全体会でのお話はこれまで頭の片隅にはあったものの触れにくく、また子どもに関わる際あえて触れないようにしてきた部分でした。日本は特に性に関する知識や意識が遅れておりそういった部分で悩み苦しんでいる子ども達はたくさんいるとは解ってはいたもののどうしてよいか分かりませんでした。しかし、やはり小さいうちから性教育を行うことは悪いことではないし、それが当たり前の中になっていくことで生きづらい子が減っていくと思います。しょうがいや困り感を持つ子についても、数十年前から取り上げられることは増えましたが、一般的にはまだまだ知識や理解が深まらず苦しむ子どもも大人も多くいます。だからこそもっと取り上げ、話をし、当たり前になるようにし、このように性に関しても発達に関してもしょうがいをしょうがいとして捉えないような志向になる子どもが増えたら良いなと思いました。しかし、やはりこういった話は難しく、安易に話をすればそれだけ傷つく人も少なからず出てきてしまいます。子ども達に伝えるときには慎重に言葉を選んで話す必要性を大いに感じました。今回お話をしてくださった講師の玉木先生のお話はとても面白く、まだまだあまり知らない世界ということもあり、驚く部分もありましたが、共感できる話もあり、とても有意義な時間だったので、もっと玉木先生の講義に参加したいなと感じました。

午後からの講座では、発達についてでしたが、学童には、1年生から6年生と幅広い年齢の子ども達が通っており、その一人ひとりが成長発達に差があります。そんな中で保育をするのに声掛けや環境づくりにはいつも悩んでいます。この講座の中でも、学校の様子等の映像と共に先生の言葉掛けの仕方や言葉による誘導での環境作りについて説明されていましたが、経験や知識、先生の性格によって子ども達の発達に大きくかわってくるのだと改めて感じ自信を無くしました。やはり、この仕事は、少なからず子ども一人ひとりの人格形成に携わっており重大な仕事だと思います。安易にこの場においていいのかと日々感じていましたが改めて考えさせられました。だからこそ、経験と知識を増やし日々自己研鑽しなくてはいけないのだなと思いました。